

竹原市景観計画（検討案）

令和2年10月時点

※ 計画書に載せる写真やデザイン
などは今後検討していきます。

竹原市

目次

第1章 景観計画の目的	1
1) 景観計画とは	
2) 景観計画策定の背景・目的	
3) 景観計画の位置づけ	
4) 計画の構成	
第2章 竹原市の景観特性	4
1) 景観を構成する要素	
2) 自然的景観の特性	
3) 歴史・文化的景観の特性	
4) 都市的景観の特性	
5) 景観形成に関する課題	
第3章 景観形成に関する将来像と方針	12
1) 竹原市が目指す景観づくり	
2) 重点地区の景観づくり	
第4章 良好な景観形成のための行為の制限	○
1) 届出対象行為	
2) 景観形成基準	
3) 屋外広告物の表示及び設置	
第5章 景観重要建造物、景観重要樹木、景観重要公共施設	○
1) 景観重要建造物、景観重要樹木の指定の考え	
2) 景観重要公共施設の整備に関する方針	
第6章 景観まちづくりの推進	○
1) 計画実現に向けた役割	
2) 良好な景観形成の推進に向けて	

第1章 景観計画の目的

1) 景観計画とは

「景観計画」とは、「景観法」(平成16年6月制定)に基づき、景観行政団体が良好な景観の保全・形成を図るために定める計画です。

「景観」は、山・海・川などの自然、歴史や文化・伝統行事、道路や公園、建物や看板等のまちを構成する要素のほか、そこに住む人々の暮らしや経済活動などで作られます。また、美しい景観は、地域の魅力を高め、そこに生活する人や訪れる人の心を豊かにしてくれます。

「竹原市景観計画」は、本市の良好な景観形成を総合的かつ計画的に推進するため、景観形成の将来像や目標、景観形成の方針、行為の制限事項、景観資源等の保全・活用事項、実現に向けた取り組みなどを示す、景観に関する住民、事業者、行政等の指針となるものです。

2) 景観計画策定の背景・目的

竹原市は、市を取り囲む瀬戸内海と緑の山々に育まれた美しい自然的景観、町並み保存地区に代表される歴史・文化的景観、商店街や市街地などの都市的景観等の多彩な景観を有しています。

景観に対する人々の意識が高まる中、全国的にも景観への取り組みが進められています。本市においても、地域固有の自然や風土、歴史に育まれた良好な景観を市民共有の財産・資産として守るとともに、新たな魅力ある景観を創出し、これらの景観を育て、地域の活性化や空間の質の向上等につなげていくことが求められています。

また、これら古くから引継がれ、築きあげられてきた竹原の良好な景観を次の世代に引継いでいくことが重要です。

そのため、本市では自然や歴史・文化を生かした竹原らしい豊かな景観づくりを市民、事業者及び行政の連携・協働で行い、誰もが「愛着」と「誇り」をもつことができる景観を形成していくことを目的とし、竹原市景観計画を策定しました。



写真

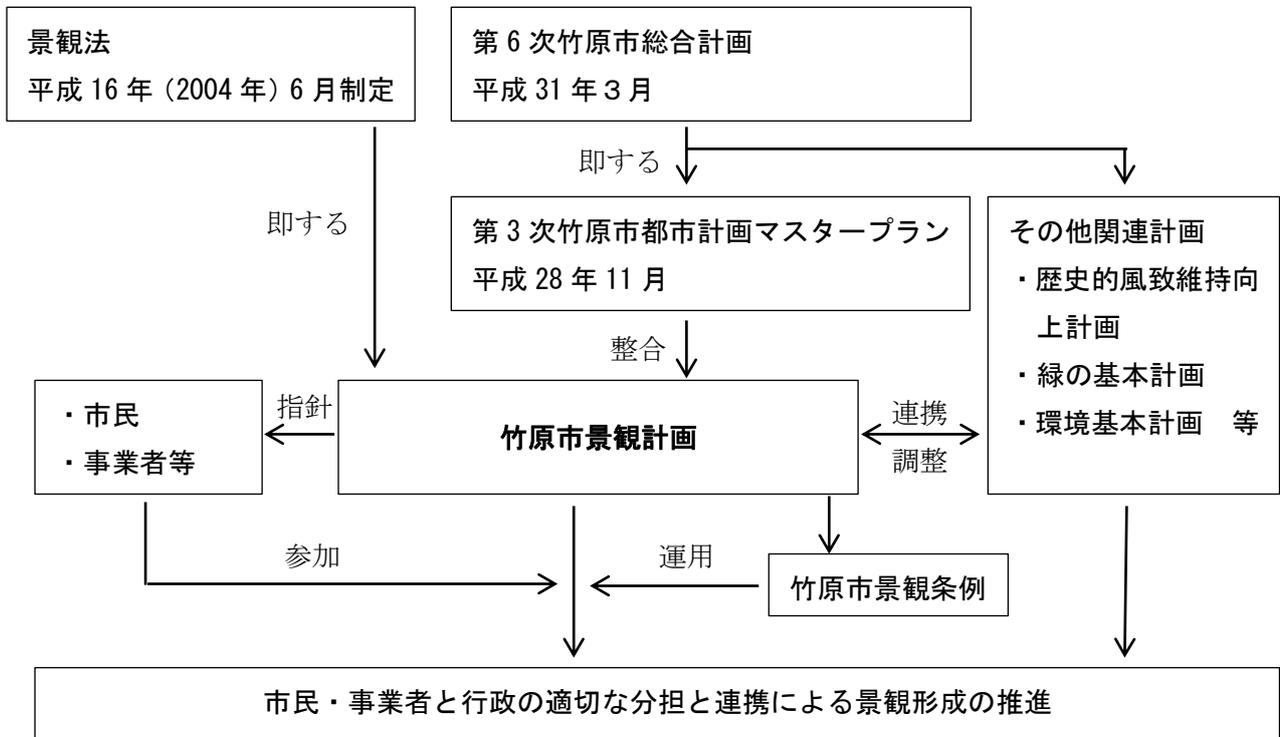
3) 景観計画の位置づけ

「竹原市景観計画」は、上位計画である「竹原市総合計画」や「竹原市都市計画マスタープラン」との整合性を図りながら、本市の景観の特性や課題を明らかにし、良好な景観の実現に向けた考え方やその方向、また、実現のための方策及び手段を定める「景観部門のマスタープラン」として、市民の意見を反映させながら創意工夫のもと策定しました。

景観計画は、本市の良好な景観づくりを進めるための景観的な配慮を市の他の行政分野が進める施策や市民・事業者等が行う土地利用や建築行為等に求めるものとなっています。

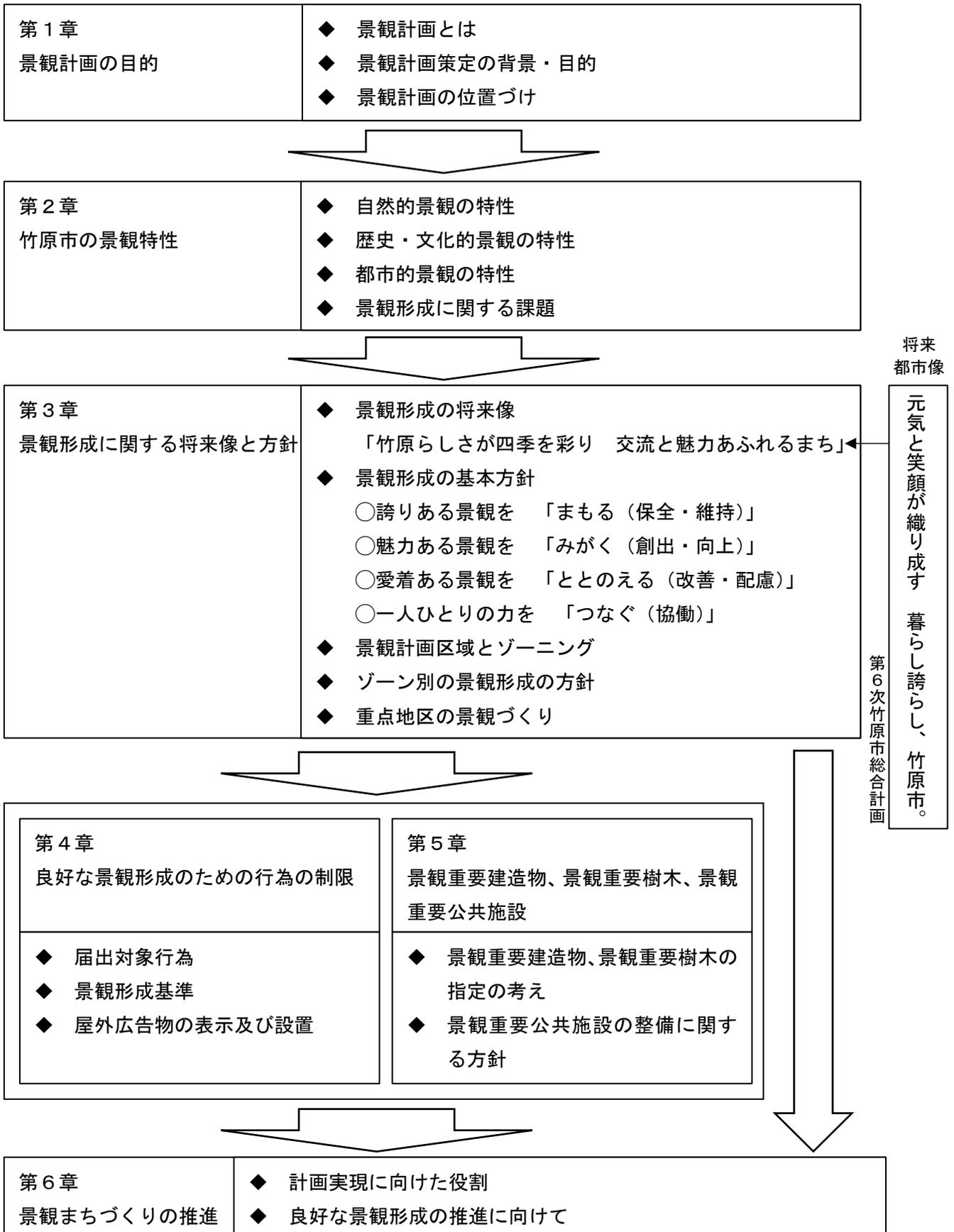
しかしながら、道路の安全性やバリアフリー、河川の安全性などそれぞれの施設が本来持つべき機能は、当然に優先されるものであり、景観計画に定める方針や基準は、これらの機能を備えた上で、建築物や構造物などが創り出す空間の質の向上を求めるものです。

このことから、今後の景観づくりに向けては、景観計画に基づき他の部門別計画との連携や事業などとの調整のもと、取り組みを進めることとなります。



4) 計画の構成

本計画の構成は以下に示すとおりです。



第2章 竹原市の景観特性

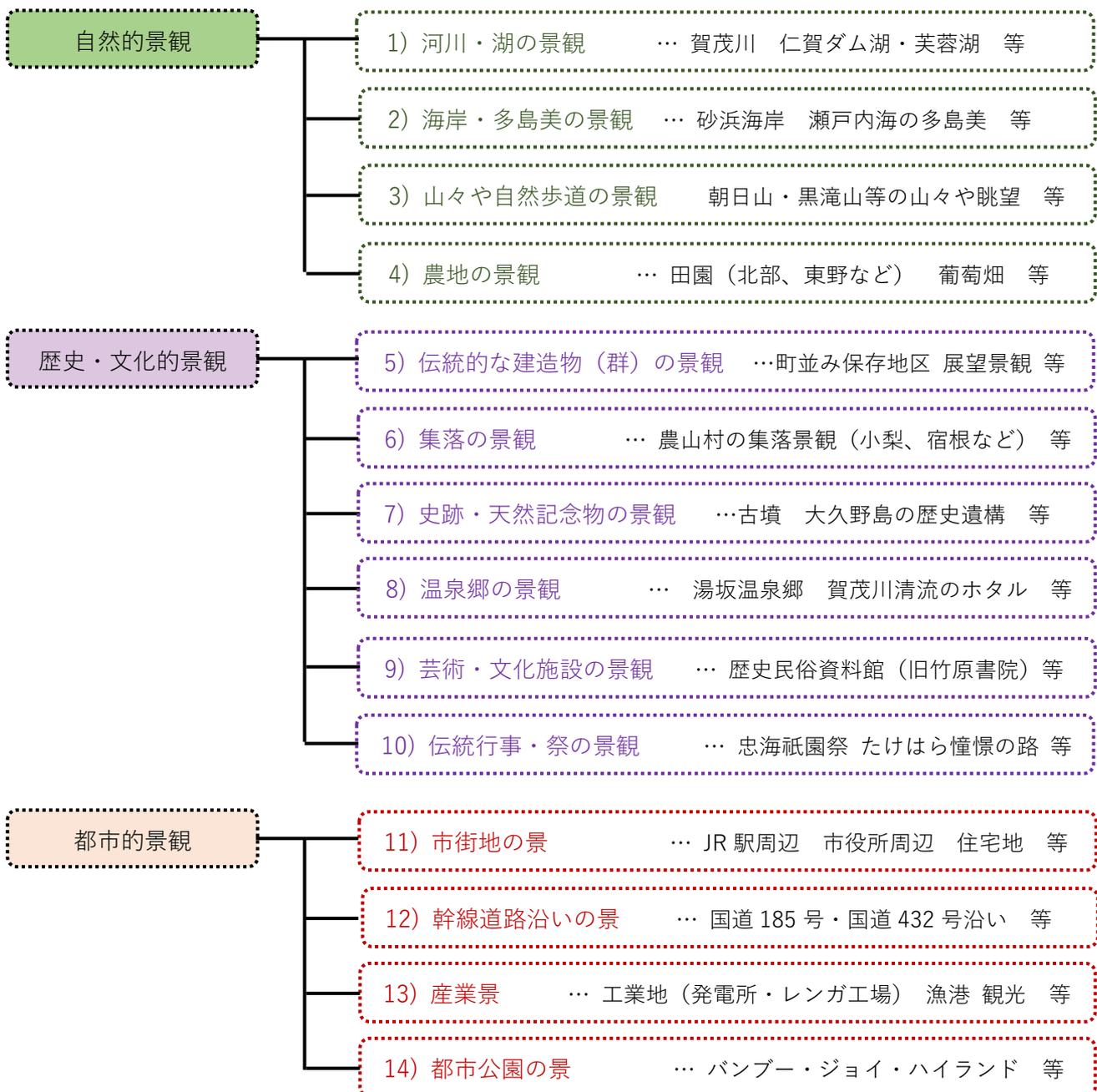
1) 景観を構成する要素

本市の景観は大別して、「自然的景観」「歴史・文化的景観」「都市的景観」の3種類に分類されます。

自然的景観は瀬戸内海や朝日山・黒滝山等の山々、賀茂川や仁賀ダム・芙蓉湖等の河川・湖など、海から山にかけての多様な自然資源から形成されます。

歴史・文化的景観は町並み保存地区に代表される伝統的な建造物群や史跡・天然記念物、神明さんや忠海祇園まつり等の伝統行事・祭など、地域の歴史・文化的資源から形成されます。

都市的景観は竹原駅前商店街や住宅団地等の市街地、国道185号や432号等の幹線道路沿道、発電所やレンガ工場等の工業地など、計画的あるいは人工的に形成された都市空間から形成されます。



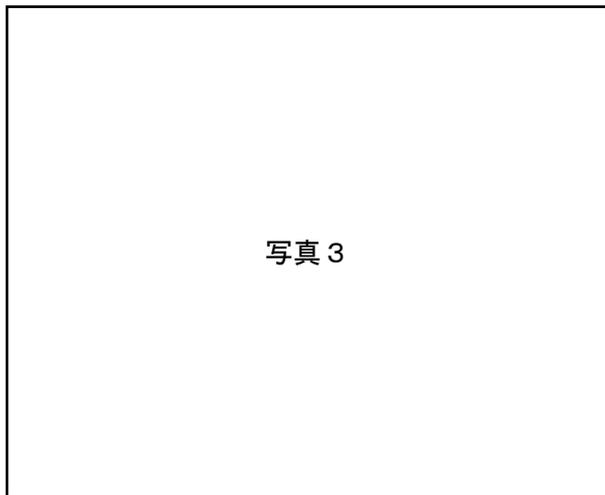
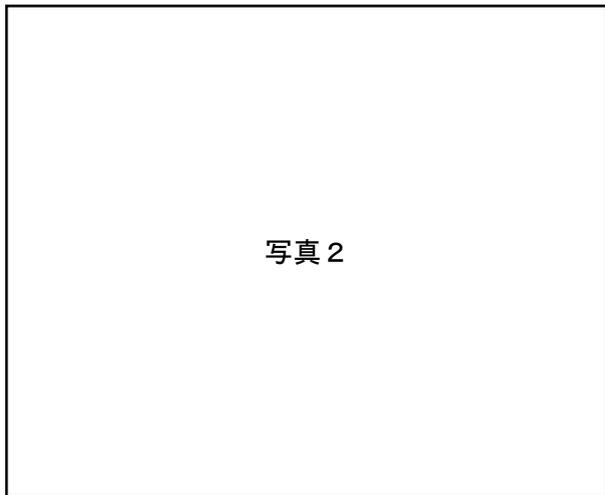
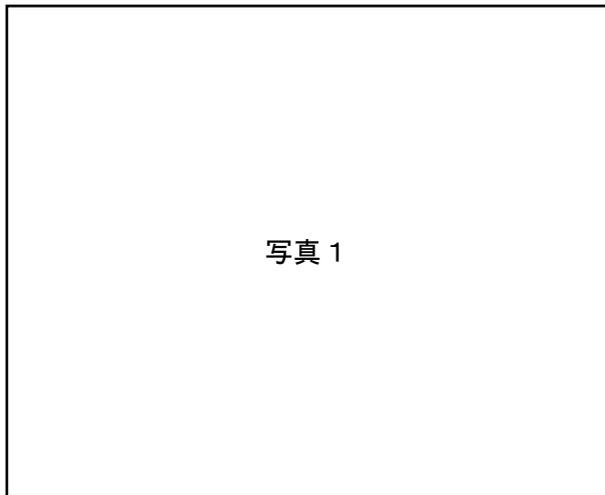
2) 自然的景観の特性

本市は四方を瀬戸内海と山々に囲まれた自然的景観が豊かなまちです。瀬戸内海沿岸部には、瀬戸内海国立公園や忠海長浜の自然海浜保全地区があり、ハチの干潟や砂浜といった自然海岸の景観、大久野島や阿波島などの多島美の景観が形成されており、国道 185 号沿いにあるエデンの海パーキングエリアは瀬戸内海の多島美や海に沈む夕日を一望できる眺望点として、多くの人々が訪れる場所になっています。

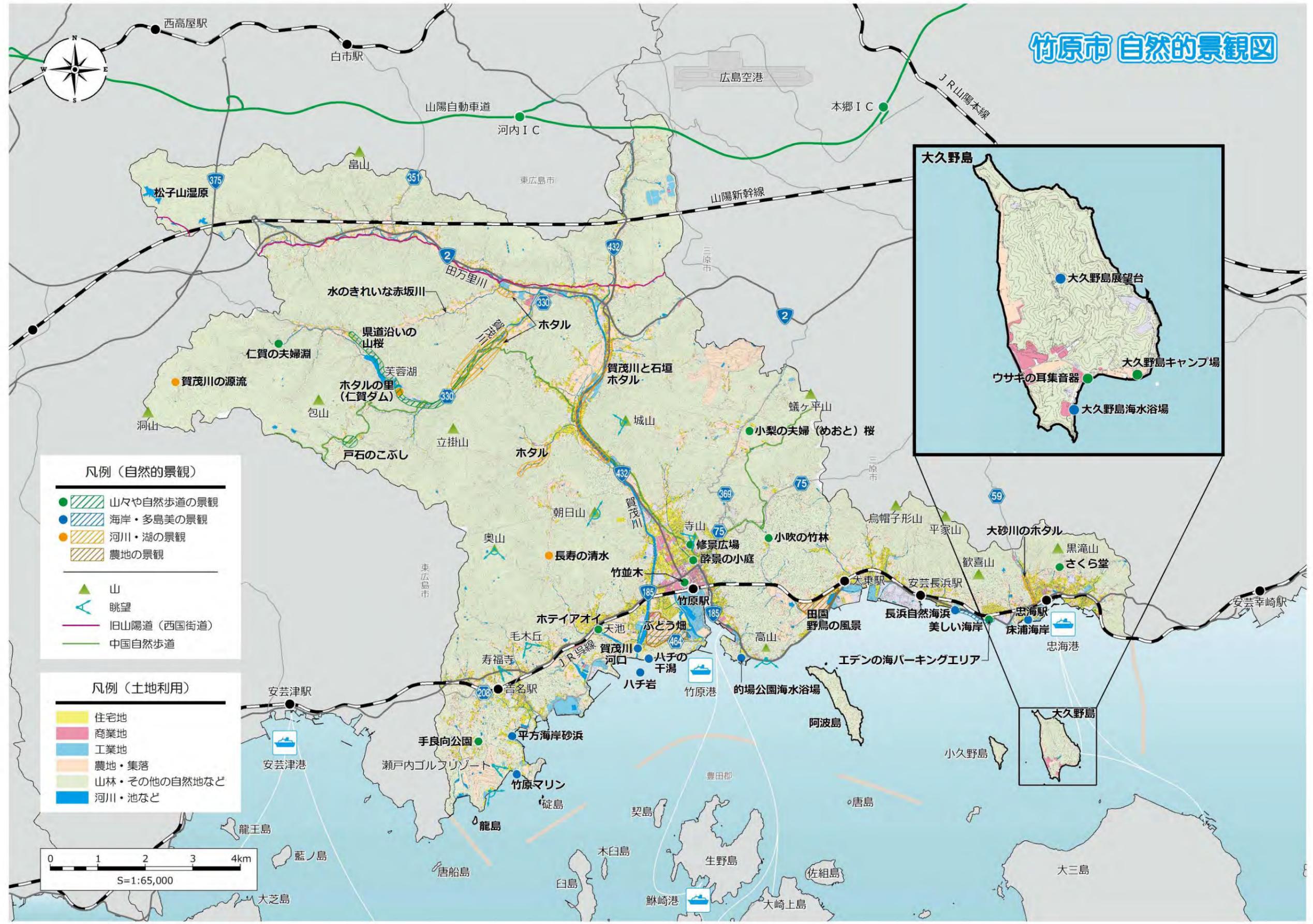
市北部では、春先の水を張った水田や秋の黄金色の稲穂が長閑な田園風景を形成し、市南部では、明治から続く葡萄栽培や特徴的な赤土のじゃがいも畑等の畑作が行われ、市全域で様々な農地の景観を見ることができます。

賀茂川や仁賀ダム・芙蓉湖では、桜並木やホタル等を楽しめる良好な親水空間が形成されているとともに、山間部では、自然歩道等の整備により自然景観をめぐることができ、市民に安らぎと潤いをあたえる自然と触れ合える場所になっています。

また、ランドマークである朝日山や黒滝山等は市街地の背景としての山並み景観を形成する一方、山頂から市街地や瀬戸内海を一望できる市内有数の眺望スポットとして、市民だけでなく多くの来訪者に親しまれています。



竹原市 自然的景觀圖

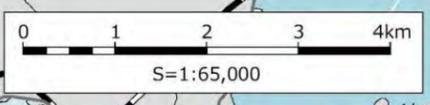


凡例 (自然的景觀)

- 山々や自然歩道の景觀
- 海岸・多島美の景觀
- 河川・湖の景觀
- 農地の景觀
- 山
- 眺望
- 旧山陽道(西国街道)
- 中国自然歩道

凡例 (土地利用)

- 住宅地
- 商業地
- 工業地
- 農地・集落
- 山林・その他の自然地など
- 河川・池など



3) 歴史・文化的景観の特性

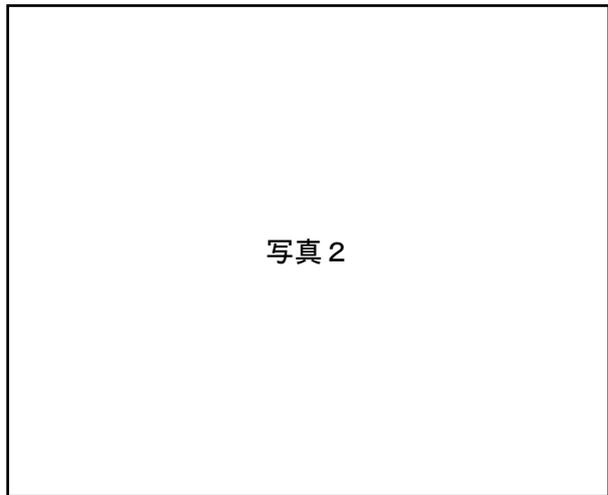
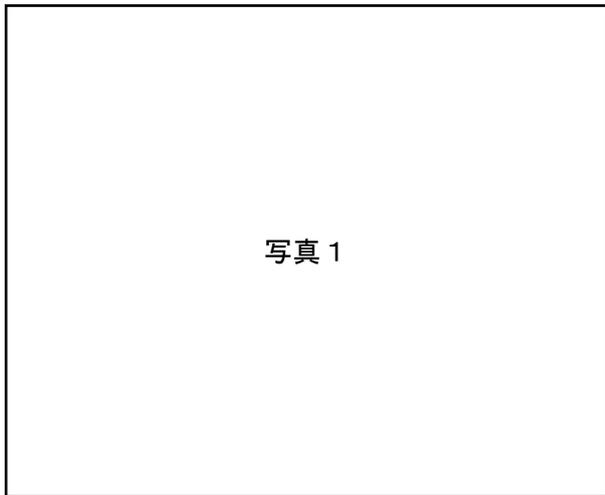
本市には、江戸時代に製塩業をはじめとした生業により発展した町並み保存地区（重要伝統的建造物群保存地区）があり、歴史ある住宅や社寺が美しい歴史・文化的景観を形成し、市内外から多くの人々が訪れています。

町並み保存地区には、塩づくりが栄えた時代に技巧を凝らしてつくられた本瓦葺き・漆喰塗籠・多様な格子の意匠の優れた屋敷や数多くの文化財、文化施設が軒を連ね、地区内の街路や水路には、黒レンガ舗装や高質な側溝整備といった景観整備が行われているとともに、市木である竹を活用した細工がまちの中に散りばめられており、歩きたくなる町並みが形成されています。

町並み保存地区の西側を流れる本川には、当時の港町の面影を残す雁木や常夜灯が今も佇み、東側の寺山と南側の鎮海山は風致地区に指定され、これらの山並みや河川が重厚な町並みと一体となって美しい歴史ある景観を作りだしています。

また、大久野島の歴史遺構や北部地域の古墳群など、市内には現在も保全されている史跡・古墳があると同時に、忠海の楠神社のクスノキや高崎町阿波島のスナメリクジラ廻遊海面といった天然記念物、農山村の集落風景や温泉郷の風景、賀茂川清流のホタルなど、今後も守り育てていくべき景観が数多くあります。

さらに、竹原の住吉祭や忠海の祇園祭、福田の獅子舞、市内ほぼ全域で行われる神明祭（神明さん）などの伝統祭事に加えて、たけはら憧憬の路、たけはら竹まつり、さくらフェスといった季節に合わせた行事もあり、地域や季節ごとに伝統的な景観を創出しています。



4) 都市的景観の特性

JR 竹原駅前や竹原市役所周辺には、市民の暮らしを支える拠点としての都市空間が形成されています。国道 432 号などの幹線道路沿いや駅前及び中心市街地には、多くの店舗や事業所、公共施設等が立ち並ぶ都市的景観があり、車や電車で本市を訪れる人々にとっては玄関口となることから、竹原らしい景観づくりが期待されています。

中心市街の一部区域においては、歴史的な町並み景観に合わせた歩道整備や小公園整備、町並み保存地区の格子をモチーフとした駅舎デザイン、竹の街路樹整備、国道 185 号の無電柱化など、良好な景観形成への取り組みが行われています。

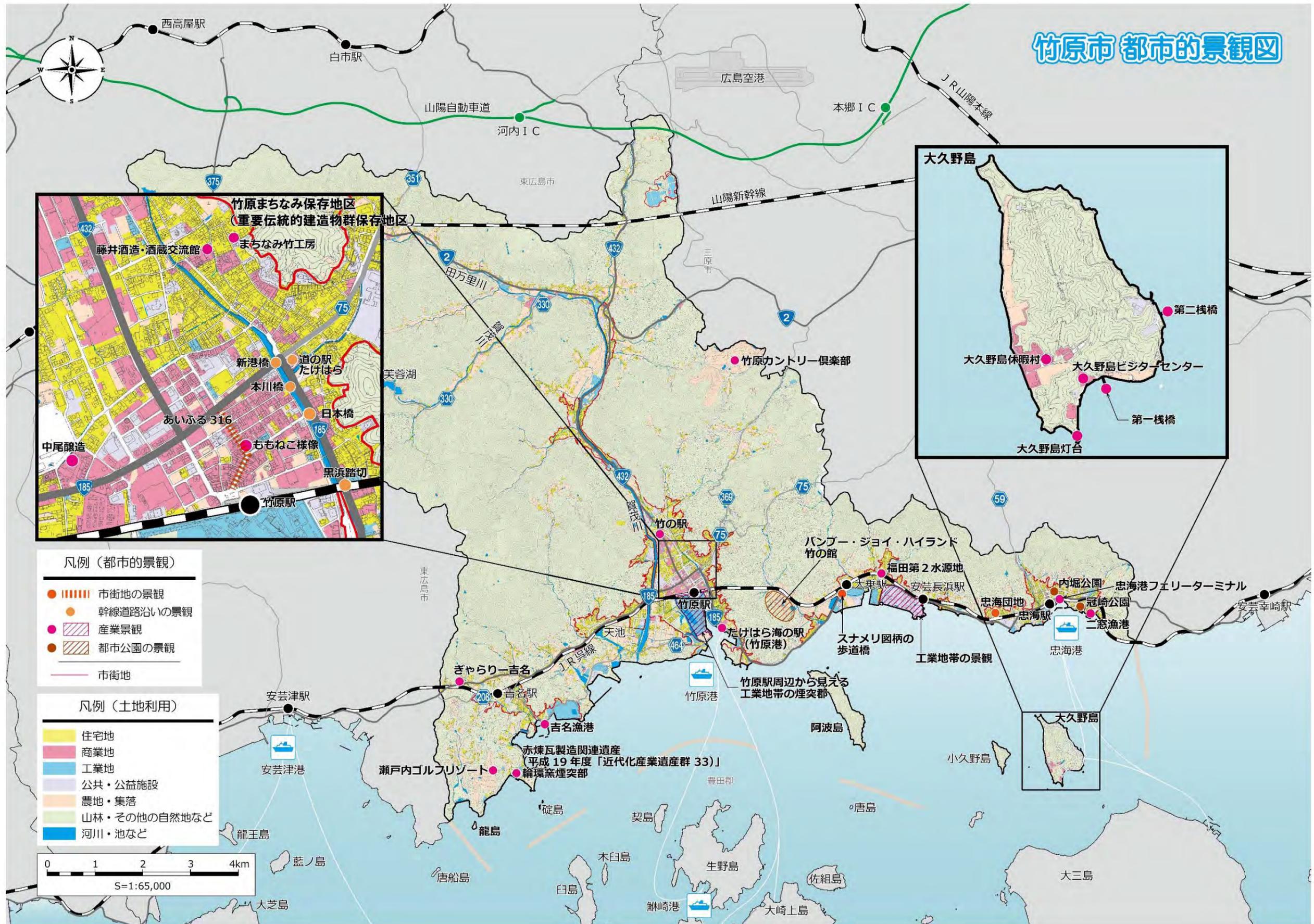
竹原の中心市街地周辺及び J R 各駅周辺では、市民の生活の場となる住宅地としての落ち着いた景観が形成されており、総合公園バンブー・ジョイ・ハイランドや内堀公園などの都市公園では、市民の活動と憩いの場所として良好な都市環境を提供しています。

また、J R 忠海駅前では、駅周辺の空き家を改修したりノベーションによるまちの再生や忠海港への歩道整備、内堀公園の活用、忠海港では大久野島への観光客のための店舗の整備等、おもてなしの景観づくりが進められています。

臨海部には、火力発電所をはじめとした工業地があり、ダイナミックな工場景観や工場夜景、特徴的な吉名のレンガ工場の景観を見ることができます。このうち、竹原製煉所の紅白の煙突は遠くからでも眺めることができ、地域では「竹太郎」の愛称で親しまれています。



竹原市 都市的景観図



**竹原まちなみ保存地区
(重要伝統的建造物群保存地区)**

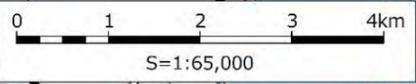
藤井酒造・酒蔵交流館
まちなみ竹工房
新港橋
道の駅 たけはら
本川橋
あいふる 316
日本橋
中尾醸造
ももねご様像
黒浜踏切
竹原駅

大久野島

第二棧橋
大久野島休暇村
大久野島ビジターセンター
第一棧橋
大久野島灯台

- 凡例 (都市的景観)**
- 市街地の景観
 - 幹線道路沿いの景観
 - 産業景観
 - 都市公園の景観
 - 市街地

- 凡例 (土地利用)**
- 住宅地
 - 商業地
 - 工業地
 - 公共・公益施設
 - 農地・集落
 - 山林・その他の自然地など
 - 河川・池など



5) 景観形成に関する課題

良好な景観形成に向けて解消すべき課題を“保全”、“創出”、“改善”、“仕組みづくり”の観点で抽出しました。

課題1 良好な景観の保全

- 朝日山や黒滝山は市を代表するランドマーク、地域のシンボルとなっている。これらのランドマークを『見上げる眺望』や『見下ろす眺望』を保全するため、それぞれの視点場の適切な維持管理や景観を阻害する建造物等の開発・建築を制限することが求められています。
- 大久野島をはじめとした瀬戸内の多島美の景観は市の重要な景観資源となっており、眺望点の保全・改善と島や海の景観保全が求められています。
- 本市を代表する景観のひとつである歴史的なまちなみは、先人たちより引き継いできたものであり、後世に引き継ぐ重要な資産であるため、適切な維持管理により保存し続ける必要があります。
- 憧憬の路や神明祭など、市内各地で開催される伝統行事・祭りは本市を特徴づける景観ですが、近年の少子高齢化等により、行事の維持が困難になっています。これらの行事・祭りを守るために、地元住民だけでなく周辺地域とも連携することが重要です。

課題2 地域資源の価値を高める

- 主要道路沿道の景観は市の玄関口であることから、玄関口として魅力ある景観づくりが求められています。
- 本市には市内外から評価の高い自然・歴史・都市的景観があり、これらの魅力的な景観は重要な観光資源にもなっているため、市内外への魅力の発信が求められています。
- 竹原駅前商店街等は町並み保存地区へつながるルートになっており、連続した賑わい景観を形成し、市民や観光客が歩きたくなるような景観まちづくりが求められています。

課題3 景観阻害要素の改善

- 歴史的なまちなみを有する地区や主要道路沿道地区に周囲と調和しない色彩やデザインを持つ建造物や広告物が立地している地域があります。これらの建造物や広告物に対する適切なルールづくりが求められています。
- 主要道路沿道の耕作放棄地や海岸等に太陽光パネル等が設置されています。低未利用地の利活用となっている一方で景観を損ねている場所もあるため、周辺の景観との調和が求められています。
- 放置されている空き店舗や空き家、空き地が増加しており、良好な景観形成を阻害しています。これらの阻害要素を解消することが重要です。

課題4 景観形成に向けた仕組みづくり

- 行政だけでは良好な景観はうまれないため、市民・事業者等と行政との協働による魅力ある景観づくりが必要です。
- 良好な景観の保全や形成を行う上で「ルールづくり」に加えて、景観イメージを醸成することも重要です。

第3章 景観形成に関する将来像と基本方針

1) 竹原市が目指す景観づくり

本市の良好な景観の形成に関する考え方として、市の景観特性や上位計画、市民意向等を踏まえた「景観形成の将来像」と「景観形成の基本方針」を定めます。

(1) 景観形成の将来像

竹原らしさが四季を彩り 交流と魅力あふれるまち

【主旨】

市内に点在する自然資源や歴史資源、まちでの伝統行事などは四季に応じて多彩な景観を創出しています。

春には、賀茂川やバンブー・ジョイ・ハイランド等をはじめ、市内各地が桜で彩られ、多くの人の心に残る景観をつくっています。夏には、瀬戸内海の島と海が夏の訪れを感じさせます。秋は黄金色に彩られた北部地域の田園が秋の風景を特徴づけています。

また、町並み保存地区に代表される本市の歴史資源は季節を問わず趣のある風景を創出しています。一方で、神明祭や忠海祇園祭など、市内各所で昔ながらの祭りや伝統行事が行われており、地域や世代を超えた交流による賑わいの創出が本市の大きな強みとなっています。

この竹原らしい景観を一人ひとりが守り・活かすことで、これからも四季を通じて美しく、魅力ある竹原を守りつづけるとともに、資源を生かした交流を促進させ、地域に賑わいを生むことを目指します。

“竹原らしさ”とは、瀬戸内の海・山・田園と歴史あるまちなみがまとまった竹原特有の風景や伝統行事等の賑わいが住民の生活と融合し、誰でも身近に景観を感じられること

(2) 景観形成の基本方針

景観形成の将来像を実現するため、「まもる（保全・維持）」、「みがく（創出・向上）」、「ととのえる（改善・配慮）」、「つなぐ（協働）」の4つの基本方針に基づき、より具体的な景観形成の基本方針を定めます。

○誇りある景観を 「まもる（保全・維持）」

本市は瀬戸内海に面しているながら、市街地の背後には朝日山や黒滝山に代表される山林があり、瀬戸内海の多島美や北部地域の田園など、多彩な自然景観を有しています。また、近世に発展した製塩業が現在の町並み保存地区を形づくっており、人々の生活と伝統が融合した歴史景観を受け継いでいます。加えて、神明祭や祇園祭などの伝統・文化資源を地域固有の景観として残しています。

今日まで先人たちが守り続けた本市の誇りある景観は竹原の財産であり、将来に渡って継承し続けるため、積極的に保全し、誇りある景観形成に取り組みます。

○魅力ある景観を 「みがく（創出・向上）」

良好な景観を形成するためには、自然の風景や歴史を感じさせるまちなみを守るだけでなく、誰にとっても居心地がよく、訪れたい・訪れてほしいと思える空間へと価値を高めることが重要です。

このため、地域の景観を構成する重要な要素を活用し、磨き上げ、発信することで、魅力ある景観の創出に取り組みます。特に玄関口となる竹原駅前、中心市街地の活性化や地域の魅力づくりと連携した景観形成に取り組みます。

○愛着ある景観を 「ととのえる（改善・配慮）」

急速な人口減少や高齢化の進展により、空き家や耕作放棄地等が増加し、中心市街地の活力ある景観や美しい田園風景等を阻害しています。また、落ち着いた住宅地にある過度に派手な屋外広告物や農地にある太陽光パネルも良好な景観を阻害する要因になっています。

これらの景観を阻害する要因を取り除き、周辺と調和した景観づくりを進め、愛着のある景観形成に取り組みます。

○一人ひとりの力を 「つなぐ（協働）」

美しい景観は、限られた人や団体だけで形づくっていくことはできません。美しい景観を将来につなげられるよう、協働で取り組む景観づくりを目指し、市民、事業者、行政が役割を分担し、一人ひとりが力を合わせて、景観づくりの輪をつなげます。

良好な景観を自分たちの手で、「まもり」、「みがき」、「ととのえる」ことを通じて、一人ひとりの景観への意識を高めるとともに、地域の魅力を広く発信し、市内外に誇れる良好な景観形成に取り組みます。

(3) 景観計画区域とゾーニング

本市は瀬戸内海に面した沿岸部や市の中央を貫流する賀茂川沿いに市街地が形成され、市街地を囲むように山地部や農地が広がり、市全域に豊かな景観資源が点在しています。

これらの資源を保全し、市全域で竹原らしい一体的な景観づくりを進めていく必要があることから、「竹原市全域」を景観計画区域とします。



景観計画区域 : 竹原市全域

地域の持つ資源や土地利用などの景観特性に応じた景観形成を進めるため、景観計画区域を5つのゾーンと2つの景観軸に区分します。

それぞれのゾーンは地域の持つ景観特性を一体的な面として捉えた地域として設定し、「まちなかゾーン」「住宅地ゾーン」「田園集落ゾーン」「多島美ゾーン」「山なみゾーン」の5ゾーンに分類します。また、住宅地ゾーンのなかで特に歴史的なまちなみを形成する地域を「歴史まちなみ地域」、多島美ゾーンのなかで近代的な工場等が集積する地域を「近代産業地域」とします。

景観軸は道路や河川など、連続的な景観を形成する線的なエリアを設定し、国道432号及び185号の主要道沿道を「沿道景観軸」、賀茂川周辺を「河川景観軸」に分類します。

ゾーン	概要	主な地区など
まちなかゾーン	竹原駅前商店街や竹原市役所周辺の商業施設や公共施設が集積する市街地エリア	竹原駅・竹原駅前商店街 新開地区
住宅地ゾーン	まちなかゾーン周辺や吉名駅、大乘駅、忠海駅周辺の住宅地エリア	吉名駅周辺、大乘駅周辺、忠海駅周辺、 下野町
歴史まちなみ地域	歴史ある建物と住宅が共存し、趣のある景観を形成するエリア	町並み保存地区 忠海市街地
田園集落ゾーン	竹原市北部や宿根地区等の主に農業が営まれているエリア	東野町、新庄町、西野町、田万里町、 仁賀町、小梨町、宿根地区
多島美ゾーン	豊かな自然景観を有する島々による多島美を形成するエリア	瀬戸内海沿岸 大久野島・小久野島・阿波島
近代産業地域	レンガ工場や火力発電所等が立地する臨海部の工場エリア	吉名レンガ工場周辺、竹原製煉所周辺、 竹原火力発電所周辺
山なみゾーン	市街地を取り囲むように山々が広がっている緑あふれるエリア	朝日山、黒滝山等のランドマーク 市街地を取り囲む山々など
沿道景観軸	国道185号及び国道432号の主要沿道のエリア	国道185号、国道432号
河川景観軸	賀茂川周辺のエリア	賀茂川



図 ゾーニング図

ゾーン	景観づくりの目標
まちなかゾーン	竹原市の中心地として、竹原らしい魅力と活力のある景観形成を目指します。特に竹原駅前商店街は、町並み保存地区へつながるルートとなっており、市民や来訪者が心地よさと魅力を感じる景観形成を目指します。
住宅地ゾーン	生活の場として、市民が落ち着きを感じる景観形成を目指します。
歴史まちなみ地域	“竹原らしさ”を継承し、生活と伝統が融合した歴史的景観の維持・向上を目指します。
田園集落ゾーン	集落と農地が周辺の自然と調和した安らぎのある景観形成を目指します。
多島美ゾーン	瀬戸内海の豊かな自然景観を有する島々による多島美を生かした景観形成を目指します。
近代産業地域	臨海部に立地するレンガ工場や火力発電所などの近代的な産業の景観形成を目指します。
山なみゾーン	山々の緑豊かな自然景観の保全を目指します。
沿道景観軸	市外からの来訪者も多く利用する主要幹線道路沿いで、“竹原らしい”玄関口となる景観形成を目指します。
河川景観軸	竹原の水と緑のシンボル軸として、周辺の景色と調和した景観形成を目指します。

(4) ゾーン別の景観形成の方針

景観形成の将来像及び基本方針を踏まえ、設定したゾーンごとの景観形成の方針を示します。

1. まちなかゾーン

【景観特性】

本ゾーンは竹原駅前商店街や国道 432 号沿道の商業施設を中心としたエリアで、親しみと賑わいのある景観を形成しています。

竹原駅前商店街は昭和 61 年に整備され、ノスタルジックな当時の雰囲気や現在まで残っています。また、JR 竹原駅から町並み保存地区を繋ぐ主要なルートになっており、市民だけでなく来訪者にも利用されるなど、多くの人に親しまれています。一方で、少子高齢化等の進展に伴い、商店街では空き店舗が増加しており、連続性のある景観を阻害しています。

国道 432 号沿道は商業施設や公共施設が立地しており、市民の日常生活を支えているとともに、市街地としての賑わいのある景観を形成しています。

写真

写真

【景観形成の目標】

竹原市の中心地として、竹原らしい魅力と活力のある景観の創出を目指します。特に竹原駅前商店街は、町並み保存地区へつながるルートとなっており、市民や来訪者が心地よさと賑わいを感じる景観形成を目指します。

【景観形成の方針】

誇りある景観を 「まもる」

- 竹原駅前商店街はノスタルジックな雰囲気を残し、親しみのある景観を維持します。
- 国道 432 号沿道は引き続き計画的な整備等を進め、商業・公共施設等が立地する都市的な市街地景観と竹の植栽による良好な沿道景観を維持します。

魅力ある景観を 「みがく」

- 駅前広場や沿道の店舗と一体となった駅前ストリートの魅力向上を検討し、まちなかを歩きたくなる、心地よさと魅力を感じる、竹原の顔となる景観づくりを行います。
- 公共施設ゾーンで想定されている施設の再編においては、市民が日常的に集いたくなる竹原らしい景観づくりを行います。

愛着ある景観を 「ととのえる」

- 竹原駅前商店街は、建築物等の形態や色彩等を工夫し、統一感のある景観づくりを行います。
- 幹線道路沿道の建築物・広告物等は賑わいを演出しつつ、周辺環境と調和した景観づくりを行います。
- 商店街等では、連続性のある景観や良好な景観を阻害する空き店舗等について関連計画と連携した取組による改善を行います。

2. 住宅地ゾーン

【景観特性】

本ゾーンは竹原の中心市街地周辺やJR吉名駅、大乗駅、忠海駅周辺のエリアで、生活の中心となる住宅地の景観を形成しています。

開発団地等の計画的に整備された住宅地では、道路や公園等が整備されたゆとりある景観、その他の地域では庭先や沿道の緑化等による落ち着いた景観が形成されています。

また、地域で協力して清掃活動を行うなど、住民が主体となった景観づくりが行われている地域もあります。

一方で、建築物等が密集した住宅地や空き家が増加している住宅地もあり、適切な改善・管理が行われないことから、良好な住宅地の景観を阻害している場所もあります。

写真

写真

【景観づくりの目標】

生活の場として、市民が落ち着きを感じる景観形成を目指します。

【景観形成の方針】

誇りある景観を 「まもる」

- 周辺環境との調和に配慮した建築物の形態や色彩、緑化等により、ゆとりと落ち着きのある住宅地景観を保全します。
- 地域の憩いの場となる公園・緑地等の適切な維持により、ゆとりある景観を保全します。
- 神明祭や祇園祭等をはじめとした、地域で受け継いできた伝統行事等がつくりだす景観の継承に努めます。

魅力ある景観を 「みがく」

- 建築物等が密集した地区では、街なみ環境整備事業等による居住環境の改善に合わせて良好な景観づくりを行います。
- 公園・緑地の適正な配置や周辺景観と調和した施設整備により、快適で居心地のいい空間を創出します。
- 新たな開発等が行われる場合は、建築物の形態や色彩等の景観の工夫や緑化の促進等により、良好な景観づくりを行います。

愛着ある景観を 「ととのえる」

- 関連計画等と連携した取組により、空き家等の景観を阻害する要因の改善を行います。

2.1 住宅地ゾーン 歴史まちなみ地域

【景観特性】

本地域は住宅地ゾーンのうち、歴史的なまちなみが形成されている地域です。

町並み保存地区は、江戸時代に製塩業の発展により形成された重厚なまちなみが、重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。地区内には国重要文化財の春風館や復古館、市重要文化財の西方寺普明閣や松坂家住宅など、歴史的な建造物や文化財等が数多く存在し、この歴史的なまちなみづくりを、地域の住民と行政が協力して一丸となり取り組んでいます。

忠海市街地は、海運の要衝として繁栄し、江戸時代には年貢米や物産の積出港の役割を担っていたことから、旧市街地には趣のあるまちなみがあり、古い町家や神社仏閣などの歴史的な資源が点在しています。

これらの地域は、市を代表する歴史・文化的景観を有しているとともに、住民の生活の場となっています。また、近年は空き家や空き地の増加、周辺と不調和な看板等が歴史的景観の連続性を阻害しており、良好な景観形成が求められています。

写真

写真

【景観づくりの目標】

“竹原らしさ”を継承し、生活と伝統が融合した歴史的景観の維持・向上を目指します。

【景観形成の方針】

誇りある景観を 「まもる」

- 町並み保存地区では、関連計画と連携した歴史的な建築物等の維持・活用により、歴史あるまちなみを保全します。
- 忠海市街地や町並み保存地区周辺の歴史あるまちなみと住宅が共存する地区では、歴史的な建築物の維持と住環境の確保の両立を図り、歴史と生活が融合したまちなみを保全します。
- かつての港としての面影を残す本川と忠海にある雁木・常夜灯等を適切に維持し、周辺の歴史的なまちなみ景観との調和に努めます。

魅力ある景観を 「みがく」

- 歴史的なまちなみと調和した街路・サイン等の整備や歴史文化が感じられる景観づくりにより、地域全体の魅力を向上させます。
- 歴史的なまちなみや建築物等の魅力ある景観資源の情報を幅広く発信し、地域内外の交流を促進します。

○関連計画と連携した歴史的な建築物等の活用により、地域の価値の向上や魅力ある景観の創出に努めます。

愛着ある景観を 「ととのえる」

○歴史的なまちなみの連続性を阻害する建築物や工作物等については、適切な規制・誘導により、統一感のあるまちなみ景観を形成します。

3. 田園集落ゾーン

【景観特性】

本ゾーンは主に農業が営まれているエリアで、農地と集落が調和した、落ち着きと人々の暮らしを感じさせる景観を形成しています。

集落の景観は地域ごとに異なっており、吉名地域では、赤土のじゃがいも畑が地域の田園景観を特徴づけています。竹原地域の賀茂川下流には、ぶどう畑が広がっており、地域の重要な資源及び景観となっています。また、北部地域では水田を中心とした農地が広がり、季節に応じた田園景観を形成しているとともに、湯坂温泉郷では、温泉地としての安らぎとホテルが舞う情緒ある景観を形成しています。

一方、担い手不足等により適切な維持管理ができなくなった農地は、耕作放棄地となり景観を悪化させているとともに、近年は太陽光パネル等の設置による景観悪化などの問題も生じています。

写真

写真

【景観づくりの目標】

集落と農地が周辺の自然と調和した安らぎのある景観形成を目指します。

【景観形成の方針】

誇りある景観を 「まもる」

- 都市的土地利用等の抑制により、集落と農地が調和した緑豊かな田園景観を保全します。
- 良好な田園風景を形成する田畑等について、適切な維持管理を行い、良好な景観を保全します。
- 湯坂温泉郷は、安らぎと情緒が感じられる温泉地としての景観を保全します。

魅力ある景観を 「みがく」

- 点在している田畑の集約や大規模化等の農地の有効活用により、美しい田園景観を創出します。

愛着ある景観を 「ととのえる」

- 耕作放棄地となっている農地を再生し、農地と集落が一体となった良好な景観を形成します。
- 関連計画等と連携した取組により、空き家等の景観を阻害する要因を改善し、安らぎのある集落景観を形成します。
- 太陽光発電設備等の周辺の農地と不調和な大規模工作物等は、設置区域や色彩、植栽等を工夫し、景観への配慮を行います。

4. 多島美ゾーン

【景観特性】

本ゾーンは瀬戸内の海と自然豊かな島々が織りなす多島美の景観を形成しています。

瀬戸内海の多島美は大小の島々が点在し、瀬戸内海国立公園のなかでも随一の絶景を有し、的場公園やエデンの海パーキングエリア等は、この多島美を望む眺望点として多くの人々が訪れています。

また、海岸線を走る JR 呉線の車窓からは美しい瀬戸内海や砂浜、次から次へと現れる島々など、様々な景観を眺めることができます。

島々には豊かな自然景観があり、特に忠海の大久野島はうさぎ島の愛称で親しまれ、癒しの風景を求める多くの観光客が訪れています。一方で、島内には歴史的な遺構も多く残されており、自然と歴史の重みを感じる景観を形成しています。

写真

写真

【景観づくりの目標】

瀬戸内海の豊かな自然景観を有する島々による多島美を生かした景観形成を目指します。

【景観形成の方針】

誇りある景観を 「まもる」

- 関係機関との連携により、瀬戸内海の魅力ある景観を構成する自然資源を保全します。
- 関係機関との連携により、老朽化が進む大久野島の歴史遺構を保全するとともに、島の歴史の継承に努めます。
- 的場公園や沿岸部の高台、JR 呉線等から望む瀬戸内海の多島美景観を保全します。

魅力ある景観を 「みがく」

- 瀬戸内海の多島美を楽しめる景観ルートや眺望点の整備、また、魅力ある景観の情報を幅広く発信することにより、多くの人々が集う空間づくりを行います。
- 忠海駅や忠海港において建築物等の修景を行い、地域の玄関口として魅力ある景観づくりを行います。

愛着ある景観を 「ととのえる」

- 太陽光発電設備等の周辺の風景と不調和な大規模工作物等は、設置区域や色彩、植栽等を工夫し、景観への配慮を行います。

4.1 多島美ゾーン 近代産業地域

【景観特性】

本地域は多島美ゾーンのうち、吉名レンガ工場周辺や竹原製煉所周辺、竹原火力発電所周辺など、近代的な工場が集積した、産業景観を形成している地域です。

吉名地域でのレンガの生産は明治時代から始まっており、今もいくつかの工場が立地し、特徴的なレンガ景観を形成しているとともに、現在も残る輪環窯煙突部は、経済産業省の近代化産業遺産認定遺産リストへ掲載され、高い評価を得ています。

竹原製煉所や竹原火力発電所は、瀬戸内海を背景にしたダイナミックな工場景観を形成しており、本市の都市的景観の重要な要素となっています。

また、大崎上島町の契島（軍艦島）は、まるで海に浮かぶ要塞のような特徴的な景観を形成しており、工場夜景も含めて本市の景観資源となっています。

写真

写真

【景観づくりの目標】

臨海部に立地するレンガ工場や火力発電所などの近代的な産業の景観形成を目指します。

【景観形成の方針】

誇りある景観を 「まもる」

- 竹原地域や大乘地域の臨海部の工業地では、建築物等の規模や色彩等を工夫し、背景の瀬戸内海と調和したダイナミックな工場景観を保全します。
- 吉名地域のレンガ工場周辺では、建築物等の形態意匠や周辺の外構等を工夫し、レンガのまちとしての景観を保全します。

魅力ある景観を 「みがく」

- 臨海部においては、陸側から見る景観だけでなく海側から工場景観を楽しめる仕組みづくりや、美しい工場夜景の情報を幅広く発信することにより、新たな観光資源として活用します。

5. 山なみゾーン

【景観特性】

本ゾーンは山林と竹林が大部分を占める緑豊かなエリアで、美しい自然景観を有しています。

市街地を取り囲む山林からは市街地や瀬戸内海を一望できるとともに、これらの山林は市街地の景観の背景を成しており、市街地の都市的な景観と山林の自然的な景観が調和した良好な景観を形成しています。

また、北部地域の山林は、田園集落と調和した里山景観を形成しており、仁賀ダム・芙蓉湖周辺では、山間部の水辺と周辺の山林が水と緑あふれる親水景観を形成しています。

一方、竹林は竹原の地名の由来と云われるほど市域に広く分布し、市木である「竹」は本市の重要な景観資源となっています。

大乗地域の総合公園バンブー・ジョイ・ハイランドは、竹をテーマとした公園で、周囲を緑豊かな山林で囲まれており、園内の桜並木等が市内外の多くの方に親しまれ、景観や交流の重要な資源となっています。

写真

写真

【景観づくりの目標】

山々の緑豊かな自然景観の保全を目指します。

【景観形成の方針】

誇りある景観を 「まもる」

- 市内の山林は、市街地や瀬戸内海を一望できる重要な視点場であるとともに、市街地を取り囲む背景として重要な役割を担っているため、関連機関と連携した山林の育成・手入れや風致地区の保全に努め、緑豊かな山林景観を保全します。
- 朝日山や黒滝山等の主要な視点場からの良好な眺望を阻害するおそれのある行為等については、適切な誘導を図り、良好な眺望景観を保全します。
- 市民の憩いと交流の場となるバンブー・ジョイ・ハイランド等の公園・緑地は適切な維持管理により魅力ある景観を保全します。
- 仁賀ダム・芙蓉湖周辺では、山間部の水辺と周辺の山林が調和した親水景観を保全します。
- 竹林は本市の重要な資源であり、小吹地区をはじめとした竹林の風景を適切に維持管理します。

魅力ある景観を 「みがく」

- 朝日山や黒滝山等の市街地や瀬戸内海を一望できる眺望点への展望台や案内表示板の整備、観光ルートの整備等により、魅力的な景観を創出します。

- 四季に応じた景観の情報を幅広く発信することにより、多くの人が集う空間づくりを行います。
- バンブー・ジョイ・ハイランド等の公園・緑地は周辺の自然環境との調和を図りつつ、人と自然がふれあう魅力的な景観づくりを行います。

愛着ある景観を 「ととのえる」

- 風力発電設備や太陽光発電設備等の周辺の風景と不調和な大規模工作物等は、設置区域や色彩、植栽等を工夫し、景観への配慮を行います。

6. 沿道景観軸

【景観特性】

沿道景観軸は国道 185 号と国道 432 号を軸とした沿道景観を形成するエリアを位置づけています。

国道 185 号は吉名と忠海をつなぐ本市の東西軸、また海岸沿いを走る道路となっており、沿岸部では瀬戸内海の美しい風景、市街地ではまちなかの景観を見ることができます。中心市街地では、近年、無電柱化の工事が行われており、良好な市街地景観の形成が進められています。

国道 432 号は北部と竹原をつなぐ本市の南北軸を走る道路となっており、北部の山間部では山林や農地等の落ち着いた景観を連続的に望むことができ、市街地では商業施設や都市施設等が立地する活気あるまちなか景観を見ることができます。一方で、道路沿道の派手な屋外広告物やまちなかに立ち並ぶ電柱等が、沿道の良好な景観を阻害している場所もあります。

写真

写真

【景観づくりの目標】

市外からの来訪者も多く利用する主要幹線道路沿いで、“竹原らしい”玄関口となる景観形成を目指します。

【景観形成の方針】

誇りある景観を 「まもる」

- 国道 185 号では、瀬戸内海を望む眺望景観の確保等により、魅力ある沿道景観を維持します。
- 国道 432 号では、竹の植栽や沿道の緑化により、市のシンボルロードとなる良好な沿道景観を維持します。

魅力ある景観を 「みがく」

- 道路や交差点の改良事業に合わせ、歩きたくなる、滞留したくなる歩行者中心の沿道景観づくりを行います。
- 竹原中心市街地の国道 185 号では、無電柱化等による良好な市街地景観を形成します。

愛着ある景観を 「ととのえる」

- 沿道の空き家や空き店舗等は、関連計画等と連携した取組により、連続性のある沿道景観づくりを行います。

7. 河川景観軸

【景観特性】

河川景観軸は賀茂川を中心とする水と緑あふれる自然景観を形成するエリアを位置づけています。

上流の仁賀ダム・芙蓉湖周辺は、周辺の山々や農地と調和した河川景観を形成しており、初夏にはホタルが舞う幻想的な光景、湯坂温泉郷周辺では温泉地と調和した落ち着いた景観を目にすることができます。

中流には、土木技術を感じる特徴的な石造りの護岸があり、河川と護岸及び周辺の住宅等が調和した良好な景観を形成しています。

下流では、春になると河川敷の桜並木が河川と一体的な美しい景観を作り出し、市を代表する桜スポットとして、市民アンケートのお気に入りの景観としても上位に選ばれています。また、河口には山と海に囲まれたハチの干潟があり、ハチ岩と呼ばれる岩により特徴的な入り江を形成しています。手つかずの自然が残る干潟としては県内でも有数の広さとなっており、広範囲の美しい水辺景観を形成しています。

写真

写真

【景観づくりの目標】

竹原の水と緑のシンボル軸として、周辺の景色と調和した景観形成を目指します。

【景観形成の方針】

誇りある景観を 「まもる」

- 市の中心を流れる賀茂川の桜並木やハチの干潟等の自然景観や自然緑地を保全します。
- 源流である荒谷山等の周辺では、山なみや農地と調和した河川景観を保全します。

魅力ある景観を 「みがく」

- 賀茂川河岸や臨海部の親水空間の整備により、人々が集いたくなる景観づくりを行います。
- 仁賀ダム周辺や中国自然歩道等では、自然資源を活かした水と緑のネットワークの形成により、魅力ある景観を創出します。

愛着ある景観を 「ととのえる」

- 河川改修においては、関係機関と連携し、周辺環境と調和した形態や色彩等の工夫を行い、周辺の環境に配慮した景観づくりに努めます。

2) 重点地区の景観づくり

(1) 重点地区指定の考え方

景観計画区域内において、特に竹原らしい景観を有しており、将来にわたって景観を保全すべき地区または竹原らしい魅力と活力のある景観を創出すべき地区を重点地区と位置付け、地区の実情に合ったきめ細かな景観誘導を図る。重点地区は、保全の必要性や住民による景観まちづくり活動の機運等を考慮し、地域住民等と合意形成を図りながら指定する。

【重点地区の指定の基準】

- 総合計画や都市計画マスタープラン等で方針が示された地区
- 景観づくりや地域づくりの活動がある地区
- 市民アンケート等による市民意向が強い地区または現況整理を踏まえ市の顔となる地区

	景観計画におけるゾーン				
	まちなかゾーン	住宅地ゾーン	田園集落ゾーン	多島美ゾーン	山なみゾーン
総合計画や都市計画マスタープラン等で方針が示された地区	主要沿道や竹原駅、観光施設周辺	町並み保存地区 忠海駅周辺・旧市街地内の町家社寺	湯坂温泉郷	—	仁賀ダム・芙蓉湖
景観づくりや地域づくりの活動がある地区	竹原駅前商店街	町並み保存地区 忠海商店街	小梨地区	—	—
市民意向が強い地区または現況整理を踏まえ市の顔となる地区	竹原駅、竹原市役所周辺 玄関口となる主要道路沿道	町並み保存地区周辺 忠海駅周辺・黒滝山から見える市街地	東野地区	大久野島	—



重点地区	竹原駅前周辺 竹原シンボルロード周辺	町並み保存地区周辺 忠海市街地周辺	指定しない	指定しない	指定しない
------	-----------------------	----------------------	-------	-------	-------

